

■ “活力・成長” “安全・安心”的2本柱で実施

“活力・成長”を支えるための物流の効率化や
広域連携の強化に資する道路整備
～国内外への広がりを確保する道路ネットワーク～
◆大阪の内外への円滑な交通の確保に寄与する路線
◆産業拠点開発等に必要な路線

“安全・安心”を支えるための道路整備
◆開かずの踏切対策（道路と鉄道の立体交差化）
◆歩行者・自転車走行空間確保、バリアフリー化
◆防災を支える都市基盤整備

■ 今後の道路投資の基本的考え方

今後、概ね30年で幹線道路ネットワークを構成させ、大量更新時代に向け維持管理に投資をシフトします。

(1) 第1ステージ 大規模継続事業にメド（平成23年度～令和2年度）

「国際競争力を高めるための物流・産業活動を支える都市の戦略インフラが構成」

＜活力・成長＞大和川線、新名神高速道路アクセス、府県間道路 等

＜安全・安心＞・連立事業（泉大津、東大阪）

- ・道路施設の長寿命化、ライフサイクルコストの抑制など戦略的な維持管理に移行
- ・自歩道整備、事故危険対策、バリアフリー化 等

(2) 第2ステージ 成長の定着と安全・安心の充実（令和3年度～令和12年度）

「戦略インフラの効果を府域に定着させる」

＜活力・成長＞広域幹線道路ネットワークの更なる整備推進

＜安全・安心＞・連立事業（高石、寝屋川・枚方、摂津）

- ・道路施設の長寿命化、ライフサイクルコストの抑制など戦略的な維持管理
- ・自歩道整備、事故危険対策、バリアフリー化 等

(3) 第3ステージ 大量更新時代への移行（令和13年度）

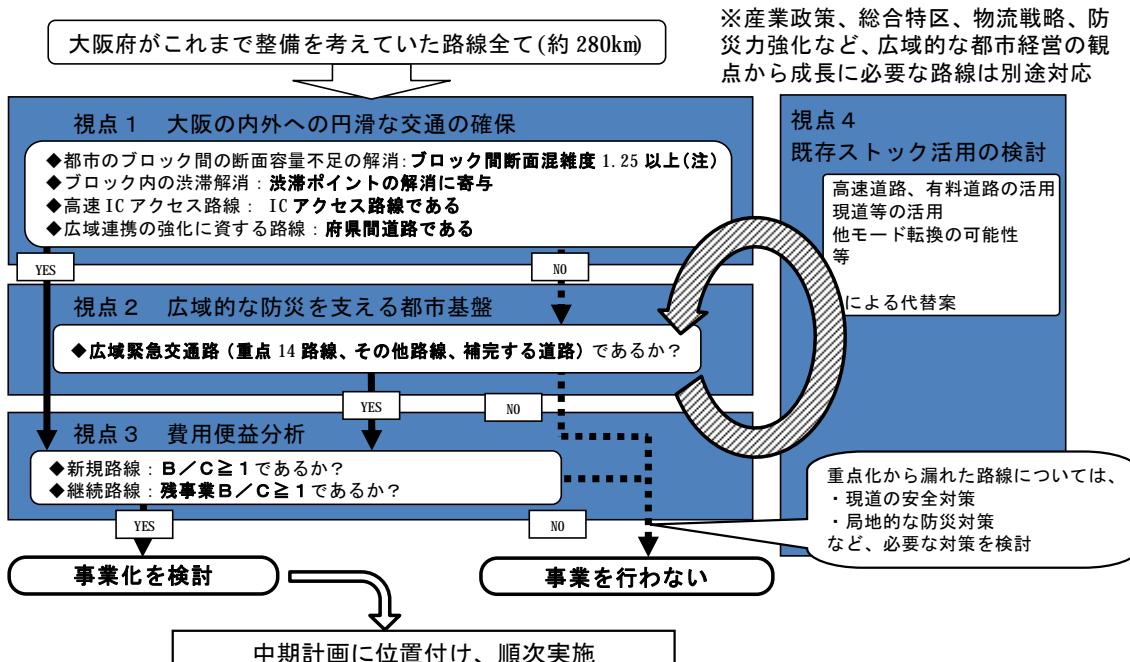
「府民に密着した道路の質の向上と更新・大規模修繕事業をスタート」

＜活力・成長＞現道拡幅事業などネットワークの総仕上げ

＜安全・安心＞・戦略的な維持管理、更新・大規模修繕事業

- ・自歩道整備、事故危険対策、バリアフリー化 等

■ 幹線道路ネットワークの将来形の見極め（路線仕分け）



(注) 混雑度 1.25 未満であれば、昼間 12 時間のうち、混雑する可能性のある時間帯が 1 ~ 2 時間。何時よりも混雑が連続する可能性は非常に小さい。